

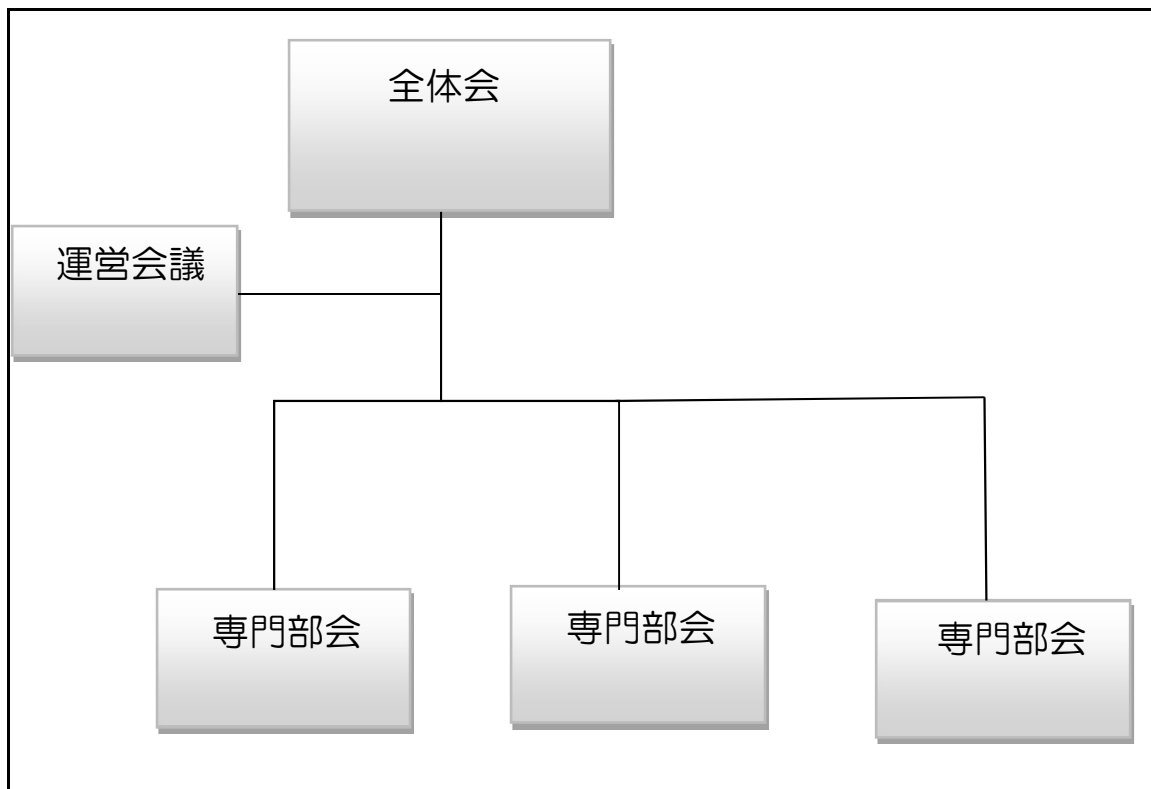
府中市

【名称】 府中市障害者等地域自立支援協議会

【設置年月】 平成20年1月

【運営方法】 直営

【組織図】



府中市

【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
未設置	4	6	5	20	13

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	—	未定

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会		
回数	委員数	
3	18	(2)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
相談支援部会	6	10 (1)
就労支援部会	6	8 (1)
児童発達支援センター部会	4	18 (2)

※「委員数」の(): 当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	0	医療関係者	2	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	5	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	4
障害福祉サービス等事業者	3	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生・児童委員	0	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		

合計	18
----	----

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	副会長	桑田 利重	地域生活支援センターみ〜な	相談支援事業者	
2	部会長	鈴木 卓郎	地域生活支援センタープラザ	相談支援事業者	
3	部会長	高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの	相談支援事業者	
4	副部会長	原 郷史	地域生活支援センターふらっと	相談支援事業者	
5		犬飼 知子	NPO法人ポップシップ	障害福祉サービス等事業者	
6	副部会長	近藤 優子	府中市福祉作業所等連絡協議会 社会福祉法人若松福祉会 ギャロップ	障害福祉サービス等事業者	
7		平良 圭嗣	有限会社やすらぎ やすらぎ	障害福祉サービス等事業者	
8		田村 智久	府中市パーキンソン病友の会	障害当事者・家族・関係団体	
9		椛島 剛之	障害者当事者	障害当事者・家族・関係団体	
10	会長	河井 文	府中市肢体不自由児者父母の会	障害当事者・家族・関係団体	
11	部会長	栗山 恵久子	府中市手をつなぐ親の会	障害当事者・家族・関係団体	
12		野村 忠良	府中市精神障害者を守る家族会	障害当事者・家族・関係団体	
13		吉井 康之	府中市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
14		吉岡 美佳	東京都立府中けやきの森学園	教育関係機関	
15	副部会長	古寺 久仁子	東京都立多摩療育園	医療関係者	
16		今野 ゆかり	府中公共職業安定所	雇用関係機関	
17		小鶴 隆志	東京都立府中療育センター	医療関係者	
18		山科 美絵	多摩府中保健所	保健所	

(2) 活動内容

各部会からの報告をもとに、全体会で協議・検討した。また、来期に向けた取組みの確認をした。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

部会 種別	相談支援部会	就労支援部会	児童発達支援 センター部会
学識経験者	0	0	0
医療関係者	1	1	2
保健所	1	0	1
教育関係機関	0	1	1
雇用関係機関	0	1	1
企業	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	4	1	5
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	2	2	4
障害福祉サービス等事業者	2	1	3
社会福祉協議会	0	1	1
法曹関係者	0	0	0
民生・児童委員	0	0	0
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	0	0	0
計	10	8	18

(2) 活動内容

部会名称	活動内容
相談支援部会	地域包括支援センター及び地域生活支援センターへのヒアリングを実施して現状と課題を整理し、市内の包括的な相談支援体制の充実の必要性を再確認した。そのための方策の1つとして、基幹相談支援センター設置の必要性と整備する機能について議論を深めた。
就労支援部会	府中市内の就労支援事業及び障害者就労の現状と課題を整理し、その中でも府中市就労支援センターみ～なでの支援に焦点を当て、就労支援の強化を図るための方策の検討及び必要性の見える化を目指した。
児童発達支援センター部会	府中市の児童期(児童福祉法第4条で定める18歳未満の者)における支援機関の現状と課題を整理し、府中市で設置を計画している児童発達支援センターのあり方を検討した。

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項

① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援部会において、地域包括支援センター及び地域生活支援センターへのヒアリングを実施して現状と課題を整理し、市内の包括的な相談支援体制の充実の必要性を再確認した。そのための方策の1つとして、基幹相談支援センター設置の必要性と整備する機能について議論を深めた。

② 就労支援に関すること

就労支援部会において、府中市内の就労支援事業及び障害者就労の現状と課題を整理し、その中でも府中市就労支援センターでの支援に焦点を当て、就労支援の強化を図るための方策の検討及び必要性の見える化を目指した。

⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

児童発達支援センター部会において、府中市の児童期(児童福祉法第4条で定める18歳未満の者)における支援機関の現状と課題を整理し、府中市で設置を計画している児童発達支援センターのあり方を検討した。また、相談支援部会では基幹相談支援センター設置について、就労支援部会では就労支援センターの支援機能の充実に向けて検討した。

⑩ 協議会の運営に関すること

運営会議において、自立支援協議会のあり方について整理し、今後の運営について検討した。

2 協議会としての役割

⑤ 地域課題の整理

相談支援、就労支援、児童発達支援等について、市内の現状を把握し、課題を整理した。また、他市への視察やオブザーバー招致によって知見を得た。

⑥ 課題解決に向けての検討

各課題について、市民への支援の充実を目指し、方策を検討した。

⑧ 社会資源の開発及び改善

児童発達支援センターや基幹相談支援センターの設置並びに就労支援センターの支援機能の充実に向け、現状の課題整理及び改善に向けた取組み等について協議検討した。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容

② 社会資源の開発及び改善

基幹相談支援センター・児童発達支援センターの設置並びに就労支援センターの機能充実に向けての課題整理及び方策の検討

4 平成30年度地域自立支援協議会交流会のグループ討議

【発表内容】

①私たちは〇〇区市町村に戻ったら、まず〇〇をします。	②なぜなら、(①に決めた理由)だからです。
協議会のこれまでの経過を振り返り、提言の実現に向けてどのように取り組むか整理する。	提言を基に課題解決に向けた取組を遂行するまでの路線整理をもっと明確にする必要があるため。

【その後の実施状況】

4-1 その後の実施状況

実施済

4-2 具体的な取組状況

運営会議で整理し、全体会で方向性を報告した。